

協議事項31

学年（チーム）担任制について

学年（チーム）担任制について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和7年12月11日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 竹森 永敏

学年(チーム)担任制の取組状況について

1. 「学年(チーム)担任制」の導入の背景と概要

- ・学校が抱える課題は年々複雑化しており、特に、学習面・生徒指導面では、よりきめ細やかな対応を求められている。
- ・そうした今日的な教育課題に対応するため、学級の壁を越えた複数教職員による対応が必要不可欠になっており、学級担任を固定せず、学級担任業務を複数の教員がローテーションで担当するなどして行う「学年(チーム)担任制」を令和5年度より導入している。

2. 取り組みの現状等

〈現状〉

- ・令和5年4月より小学校2校、中学校2校でモデル実施。
- ・令和6年度は、小学校5校、中学校3校、義務教育学校1校にモデル実施を拡大。
- ・令和7年度は、モデル事業を解消し、各校の裁量において取り組み、小学校24校、中学校7校、義務教育学校2校での実施。

〈評価〉

- ①令和6年度アンケート調査より、学年(チーム)担任制に満足している児童生徒は5割強、中間層3割と概ね肯定的な評価であった。
- ②教職員からは、複数の教職員との関わりが児童生徒への指導や保護者からの要望対応の面においてプラスになるとの意見がある。
- ③若手教職員の育成をチーム全員で対応できることで、安定した学年運営につながるとの意見もあった。

〈課題〉

- ①児童生徒や保護者が、どの教職員に相談したらよいか分かりづらい。
 - 児童には担任が交替する際、掲示等で示す。
 - 保護者にはローテーション表を学年だよりや「すぐーる」等で周知する。
- ②教職員間での児童生徒の状況の共有や事務引き継ぎ等を、こまめに行う必要性がある。
 - 定期的な打合せの実施だけでなく、隙間時間を活用した報連相を行う。
 - 校務支援システムのチャットやTeams等を活用する。
- ③新年度の学級数増減や学年構成メンバーの変更などが生じ、導入意向がありながらも断念せざるを得ない学校もあった。

【参考：令和7年度導入予定・実施校一覧】

○小学校 24校・中学校 7校・義務教育学校 2校

(赤…令和6年度モデル実施校)

※太枠は学年をまたいで実施している学校

学校名	導入学年（数字は学級数）					
	小1	小2	小3	小4	小5	小6
渦が森小学校					3	3
成徳小学校						4
美野丘小学校					3	3
摩耶小学校					2	3
浜山小学校						2
花山小学校					2	3
箕谷小学校					*2	*2
桂木小学校		2	2	2	2	2
広陵小学校					3	
甲緑小学校			*2	*2	*2	*2
小部東小学校			2	2	2	2
長尾小学校						5
御蔵小学校			*1	*1		
長田南小学校						2
若宮小学校					2	2
西須磨小学校						5
東須磨小学校					3	3
若草小学校					2	2
西落合小学校		2				
有瀬小学校					4	
井吹の丘小学校						4
櫻野台小学校					2	2
桜が丘小学校						2
月が丘小学校					*1	*1
港島学園（前）				3	3	3
八多学園（前）	*1	*1	*1	*1	*1	*1

学校名	導入学年（数字は学級数）		
	中1	中2	中3
本庄中学校	6		
本山南中学校	7	6	7
有野中学校	5	4	5
唐櫃中学校	1	2	1
雲雀丘中学校	2	2	2
神陵台中学校	2	2	3
西神中学校	3		
港島学園（後）	3	3	3